

▼カルバン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ベ vantolol 塩酸塩 Bevantolol Hydrochloride 【分類】 高血圧症治療薬 [α1β1 遮断剤]

【単位】 ▼25mg・▼50mg・▼100mg/錠

【常用量】 100mg/日 [最大 200mg/日]

【用法】 分2

【透析患者への投与方法】 減量の必要はないと思われるが少量から開始 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要はないと思われる少量から開始 (5)

重篤な腎障害：低用量から投与を開始することが望ましい (1)

【特徴】 α, β 遮断薬。弱い Ca 拮抗作用も認められている。

【主な副作用・毒性】 徐脈, 洞性徐脈, 動悸, 喘息発作, 血清コレステロール上昇, 血中尿酸上昇など

【Ka】 0.211/hr (1)

【F】 平均 57% で個人差あり (1)

【tmax】 0.75±0.27hr (1)

【代謝】 抱合及び酸化を受ける (1) CYP2D6, 3A4 が関与 (1) 代謝物はほとんど抱合体として存在しており, 薬効はない (1)

【排泄】 累積尿中未変化体排泄率 0.59% [48 時間まで] (1) 尿中回収率 [120 時間まで] 72.2% (1) 【CL】 388±25mL/min (1)

【t1/2】 α相: 1.36±0.56hr, β相: 9.7±6.0hr (1) 【Ke】 0.0760/hr (1)

【蛋白結合率】 99%以上 (1)

【Vd】 62.3L/man (1)

【MW】 381.89

【透析性】 蛋白結合率が高く, 透析されないとされる (5)

【O/W 係数】 17.3 [1-オクタノール/水系, pH7.0] (1)

【主な臨床報告】 DCM に対する効果はメトプロロールと同等 (Hara Y, et al: Heart Vessels 2002 PMID: 12541094)

【備考】 β1/β2 遮断効力比は 11.5~32, β1/α1 遮断効力比約 14 (1) ISA なし (1)

【更新日】 20241007

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。